

(別紙1)

令和4年度～令和8年度
社会福祉法人延岡市社会福祉協議会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 延岡市社会福祉協議会		法人番号	5350005002877				
法人代表者氏名	柳田 泰宏							
法人の主たる所在地	宮崎県延岡市三ツ瀬町1丁目12番地4							
連絡先	0982-32-6555							
地域住民その他の関係者 への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の 意見聴取年月日	令和4年11月24日							
評議員会の承認年月日	令和4年12月20日							
会計年度別の社会福祉充 実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (令和3年 度末現在)	1か年度目 (令和4年 度末現在)	2か年度目 (令和5年 度末現在)	3か年度目 (令和6年 度末現在)	4か年度目 (令和7年 度末現在)	5か年度目 (令和8年 度末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	25,060 千円	24,840 千円	15,904 千円	2,623 千円	263 千円	0千円		0千円
	うち社会福祉充実事 業費(単位：千円)		▲220 千円	▲8,936 千円	▲13,281 千円	▲2,360 千円	▲263 千円	▲25,060 千円
本計画の対象期間	令和5年1月1日～令和9年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新 規の別	事業概要	施設整備 の有無	事業費
1か年 度目	社会福祉充実計 画の税理士等の 確認事業	社会福祉 事業	既存	社会福祉充実計画の税理士等の確認(意 見聴取)費用	無	220千円
	小計					
2か年 度目	災害対策事業	社会福祉 事業	既存	老朽化している東倉庫を解体し、新た に物置を設置することで、災害発生時の 迅速に災害ボランティア活動が行えるよ う災害用資機材の保管場所を整備する。 また、老朽化している非常用発電機の 更新を行うことで、災害発生時の利用者 等の安全確保につなげる。	有	5,949 千円
	延岡市社会福祉 センター利便性 向上事業	社会福祉 事業	既存	延岡市社会福祉センターの利便性の拡 大のため、駐輪場の整備を行う。	有	627千円

2か年度目	要援護者支援事業	社会福祉事業	既存	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	無	800千円
	福利厚生向上事業	社会福祉事業	既存	全職員対象の定期健康受診の内容を精度の高い健康診断として人間ドックによる健診を推奨し、健康な状態を維持、又は病気等の早期発見に努め、職員の離職率の低下につなげつつ、福祉サービスの向上につなげる。 なお、当法人に在籍する職員の健康診断を3か年で実施することとし、この時の費用のうち、上限60,000円を法人の補助とする。	無	1,560千円
	小計					
3か年度目	延岡市社会福祉センター利便性向上事業	社会福祉事業	既存	延岡市社会福祉センターのエレベーターの巻上機を2重ブレーキ対応の巻上機に更新を行うと同時に、耐震性強化を行うことで利用者の安全確保につなげる。 また、各階に設置してあるトイレを洋式化することで、高齢者、障がい者が利用しやすい環境を整えると同時に、自動水洗化することで利用者の感染症対策を図る等、利便性向上につなげる。	有	10,921千円
	要援護者支援事業	社会福祉事業	既存	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	無	800千円
	福利厚生向上事業	社会福祉事業	既存	全職員対象の定期健康受診の内容を精度の高い健康診断として人間ドックによる健診を推奨し、健康な状態を維持、又は病気等の早期発見に努め、職員の離職率の低下につなげつつ、福祉サービスの向上につなげる。 なお、当法人に在籍する職員の健康診断を3か年で実施することとし、この時の費用のうち、上限60,000円を法人の補助とする。	無	1,560千円
	小計					
4か年度目	要援護者支援事業	社会福祉事業	既存	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	無	800千円
	福利厚生向上事業	社会福祉事業	既存	全職員対象の定期健康受診の内容を精度の高い健康診断として人間ドックによる健診を推奨し、健康な状態を維持、又は病気等の早期発見に努め、職員の離職率の低下につなげつつ、福祉サービスの向上につなげる。 なお、当法人に在籍する職員の健康診断を3か年で実施することとし、この時の費用のうち、上限60,000円を法人の補助とする。	無	1,560千円
	小計					

5か年度目	要援護者支援事業	社会福祉事業	既存	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	無	800千円
	小計					800千円
合計						25,597千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	<p>高齢者、障がい者をはじめとした地域住民の方々が延岡市社会福祉センターを利用していることから利便性の拡大を図るために駐輪場の拡充のほか、トイレを洋式化する等の改修工事を行うこととした。</p> <p>また、老朽化している延岡市社会福祉センターの非常用発電機及びエレベーターの巻上機の更新を行うことで、災害発生時等の利用者の安全確保を図るほか、迅速に災害ボランティア活動が行えるよう災害用資機材の保管場所を整備する取り組みを行うこととした。</p> <p>その他、地域福祉の増進拡充のための高齢者や障がい者の緊急時に備えた取り組みとして実施している「安心カード」の事業を、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ、安心カード配布を拡大することで、万が一のための早期対応を行う支援拡充の取り組みを行うこととした。</p> <p>ほかにも、利用者等に対する福祉サービスの向上のためには、職員の健康維持を図る必要があることから、職員に対して質の高い健康診断の受診勧奨の取り組みを行うこととした。</p>
② 地域公益事業	①の取り組みを実施する結果、残額は生じないため、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取り組みを実施する結果、残額は生じないため、実施はしない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
社会福祉充実計画の税理士等の確認事業	計画の実施期間における事業費合計	220千円	0千円	0千円	0千円	0千円	220千円	
	財源構成	社会福祉充実残額	220千円					220千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
	その他							

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
延岡市社会福祉センター 一利便性向上事業	計画の実施期間における事業費合計	0千円	627千円	10,921千円	千円	0千円	11,548千円
	社会福祉充実残額		627千円	10,921千円			11,548千円
	補助金						
	借入金						
	事業収益						
	その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
災害対策事業	計画の実施期間における事業費合計	0千円	5,949千円	千円	千円	0千円	5,949千円
	社会福祉充実残額		5,949千円				5,949千円
	補助金						
	借入金						
	事業収益						
	その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
福利厚生向上事業	計画の実施期間における事業費合計	0千円	1,560千円	1,560千円	1,560千円	0千円	4,680千円
	社会福祉充実残額		1,560千円	1,560千円	1,560千円		4,680千円
	補助金						
	借入金						
	事業収益						
	その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
要援護者支援事業	計画の実施期間における事業費合計	千円	800千円	800千円	800千円	800千円	3,200千円
	社会福祉充実残額		800千円	800千円	800千円	263千円	2,663千円
	補助金						
	借入金						
	事業収益						
	その他					537千円	537千円

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	社会福祉充実計画の税理士等の確認事業	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	延岡市内	
事業の実施時期	令和5年1月1日～令和5年3月31日	
事業内容	社会福祉充実計画の税理士等の確認（意見聴取）	
事業の実施スケジュール	1か年度目	社会福祉充実計画の税理士等の確認（意見聴取）
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 （概算）	社会福祉充実計画の税理士等の確認（意見聴取）業務委託料：220千円	
	合計	220千円（うち社会福祉充実残額充当額 220千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	延岡市社会福祉センター利便性向上事業	
主な対象者	延岡市民	
想定される対象者数	約 14,000 人	
事業の実施地域	延岡市内	
事業の実施時期	令和5年4月1日～令和7年3月31日	
事業内容	延岡市社会福祉センターの利便性向上のため、駐輪場の整備及びセンター内のトイレの洋式化・自動水洗化をする等の改修工事を行う。また、老朽化している延岡市社会福祉センターのエレベーターの巻上機の更新を行うことで、災害発生時等の利用者の安全確保を図る。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	駐輪場の整備工事
	3か年度目	各階トイレの洋式・自動水洗化等工事、エレベーター巻上機更新・耐震強化工事
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 （概算）	福祉センター駐輪場整備工事 : 627千円	
	エレベーター巻上機更新・耐震強化工事 : 5,258千円	
	各階トイレの洋式化・自動水洗化等工事 : 5,663千円	
	合計	11,548千円（うち社会福祉充実残額充当額 11,548千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	災害対策事業	
主な対象者	延岡市民	
想定される対象者数	約 14,000 人	
事業の実施地域	延岡市内	
事業の実施時期	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日	
事業内容	<p>老朽化している東倉庫を解体し、新たに物置を設置することで、災害発生時に迅速に災害ボランティア活動が行えるよう災害用資機材の保管場所として物置を設置する。</p> <p>また、老朽化している非常用発電機の更新を行うことで、災害発生時の利用者等の安全確保につなげる。</p>	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	現東倉庫の解体及び物置設置工事、非常用発電機の更新工事
	3 か年度目	
	4 か年度目	
	5 か年度目	
事業費積算 (概算)	東倉庫の解体及び物置設置工事 : 1,610 千円 福祉センター非常用発電機設置工事 : 4,339 千円	
	合計	5,949 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 5,949 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	-	

事業名	福利厚生向上事業	
主な対象者	当法人に在籍する職員	
想定される対象者数	78 人	
事業の実施地域	-	
事業の実施時期	令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日	
事業内容	<p>健康な状態を維持、又は病気等の早期発見に努め、職員の離職率の低下につなげつつ、福祉サービスの向上につなげるため、全職員対象の定期健康診断受診の内容を精度の高い健康診断として人間ドックによる検診を推奨し、職員一人につき上限 60,000 円を法人より補助する。</p>	
事業の実施スケジュール	1 か年度目	
	2 か年度目	全職員のうち 1/3 を対象に健診費用を補助
	3 か年度目	全職員のうち 1/3 を対象に健診費用を補助
	4 か年度目	全職員のうち 1/3 を対象に健診費用を補助
	5 か年度目	
事業費積算 (概算)	60,000 円(上限額)×職員 78 人×1/3×3 か年=4,680 千円	
	合計	4,680 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 4,680 千円)
地域協議会等の意見とその反映状況	-	

事業名	要援護者支援事業	
主な対象者	独居高齢者、障がい者世帯等の要援護者世帯	
想定される対象者数	10,000世帯	
事業の実施地域	延岡市内	
事業の実施時期	令和5年4月1日～令和9年3月31日	
事業内容	もしものための取り組みとして「安心カード」を独居高齢者や障がい者世帯等に配布し、地域の見守り活動を行っている。さらに、現在の配布先以外にも要援護者と判断できる方などへ安心カード配布を拡大することで、地域福祉の増進に資する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	要援護者の発掘など要援護者に対する支援（安心カードの配布）の実施
	3か年度目	要援護者の発掘など要援護者に対する支援（安心カードの配布）の実施
	4か年度目	要援護者の発掘など要援護者に対する支援（安心カードの配布）の実施
	5か年度目	要援護者の発掘など要援護者に対する支援（安心カードの配布）の実施
事業費積算 （概算）	安心カード配布実施（800,000円×4年）＝3,200千円	
	合計	3,200千円（うち社会福祉充実残額充当額2,663千円）
地域協議会等の意見とその反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由